

### 1-①人材確保への支援

★多くの経営者が人材の確保・育成を重要な経営課題として捉えている。

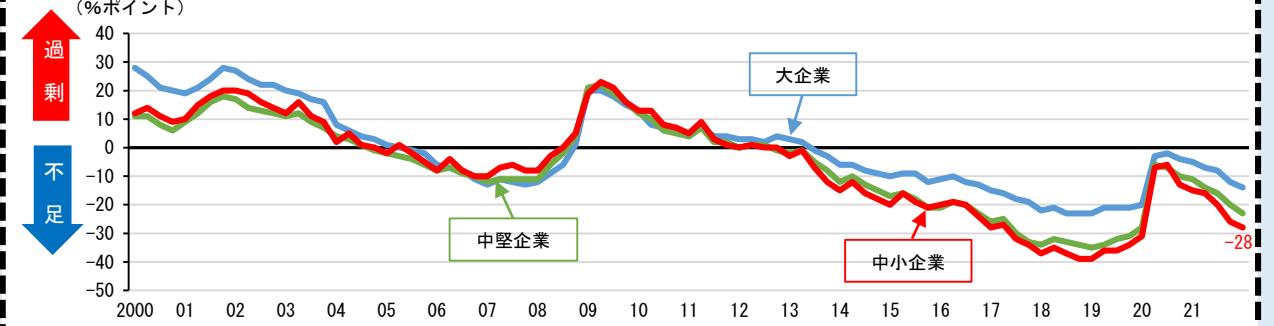
重視する経営課題



(出典) 中小企業庁「2022年版中小企業白書」再編加工

★企業は人手不足の傾向であり、中小企業は特にその傾向が強い。

雇用人員判断D.I.の推移 (全国)



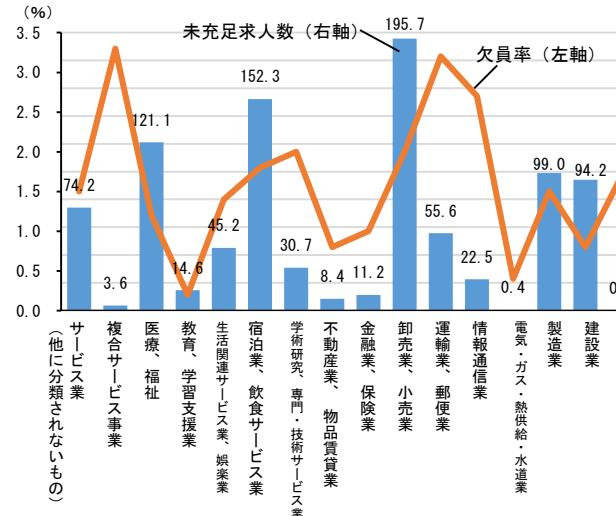
※ 資本金2,000万円以上1億円未満が中小企業、1億円以上10億円未満が中堅企業、10億円以上が大企業に区分される。

※ D.I.とは、人手状況を「過剰」と回答した企業比率から、「不足」と回答した企業比率を差し引いた数値である。

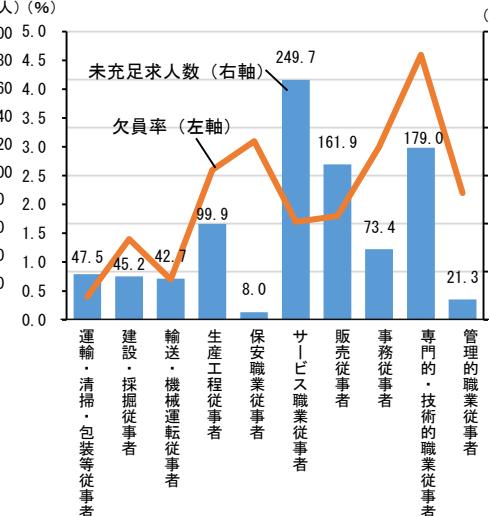
(出典) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」再編加工

★人手不足の状況は産業・職種ごとに異なっている。

産業別未充足求人状況 (2021年上半期)



職業別未充足求人状況 (2021年上半期)

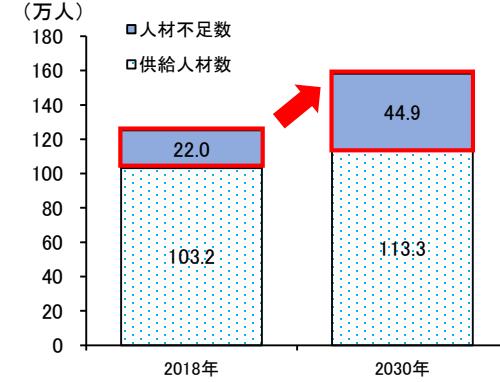


(出典) 厚生労働省「雇用動向調査」

★企業のデジタル化に必要な人材は不足が予想され、人材確保において中小企業は課題を抱えている。

★国の「デジタル田園都市国家構想基本方針」において、「デジタル人材の育成・確保」が一つの柱とされており、今後も中小企業においてデジタル人材の育成・確保が求められる。

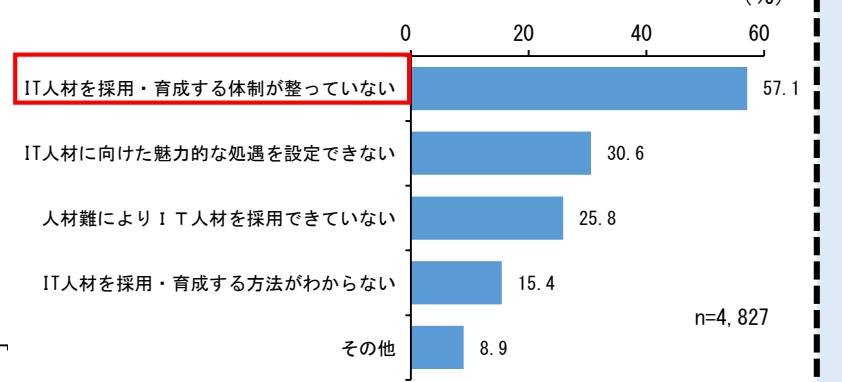
IT人材※1 需給の試算 (全国、中位推計)



※1 平成27年国勢調査においてITに関する職業である「システムコンサルタント・設計者」、「ソフトウェア作成者」、「その他の情報処理・通信技術者」が試算対象。

(出典) みずほ情報総研株式会社「IT人材需給に関する調査」(平成30年度経済産業省委託事業)再編加工

IT人材※2 確保における課題 (%)

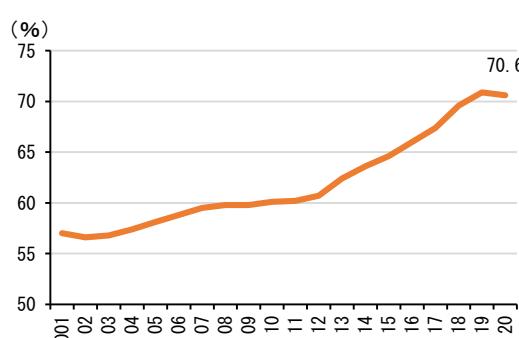


※2ここで言う「IT人材」とは、「ITツールの活用や情報システムの導入を企画、推進、運用する人材」のことを総称しており、左掲の図表で定義するものとは異なることに留意。

(出典) 中小企業庁「2021年版中小企業白書」

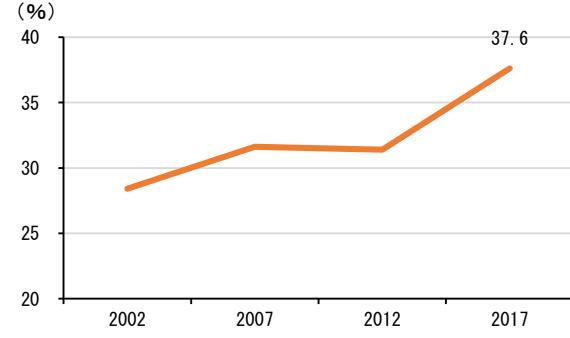
★労働人口が減少する中、女性・高齢者・障害者・外国人等、企業には多様な人材の活用が求められている。

生産年齢人口に占める女性の就業率の推移 (全国)



(出典) 総務省「労働力調査」

高齢者 (65~75歳) の有業率の推移 (千葉県)



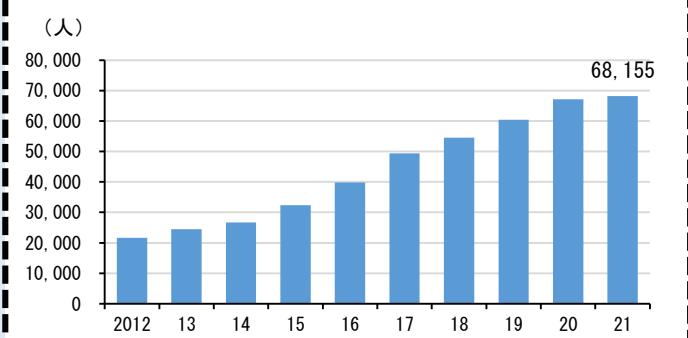
(出典) 総務省「就業構造基本調査」

民間企業における障害者の雇用率・雇用者数の推移 (千葉県)



(出典) 厚生労働省千葉労働局「障害者雇用状況の集計結果」

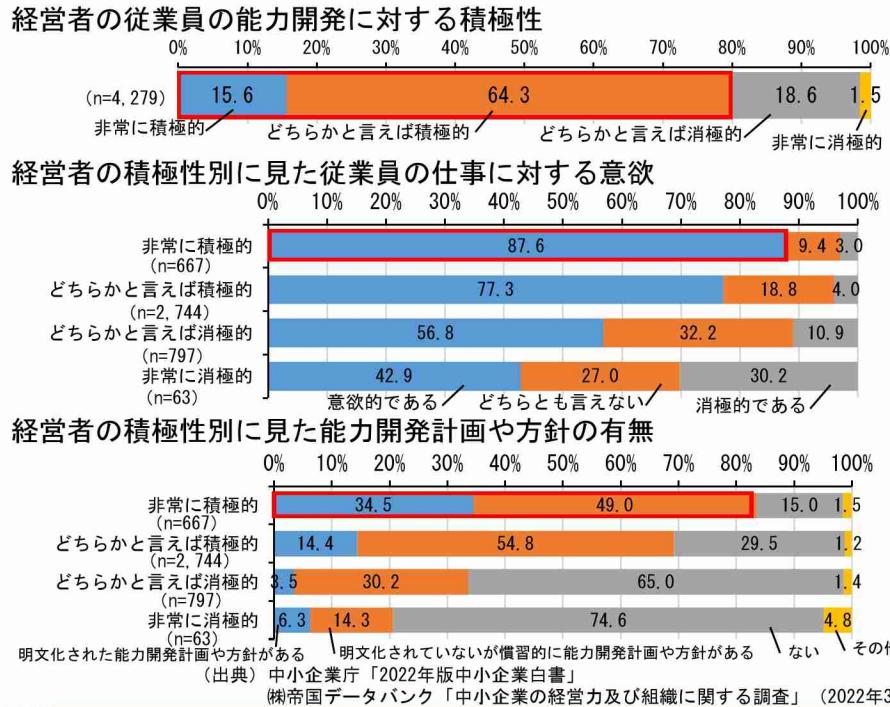
外国人雇用状況の届出状況の推移 (千葉県)



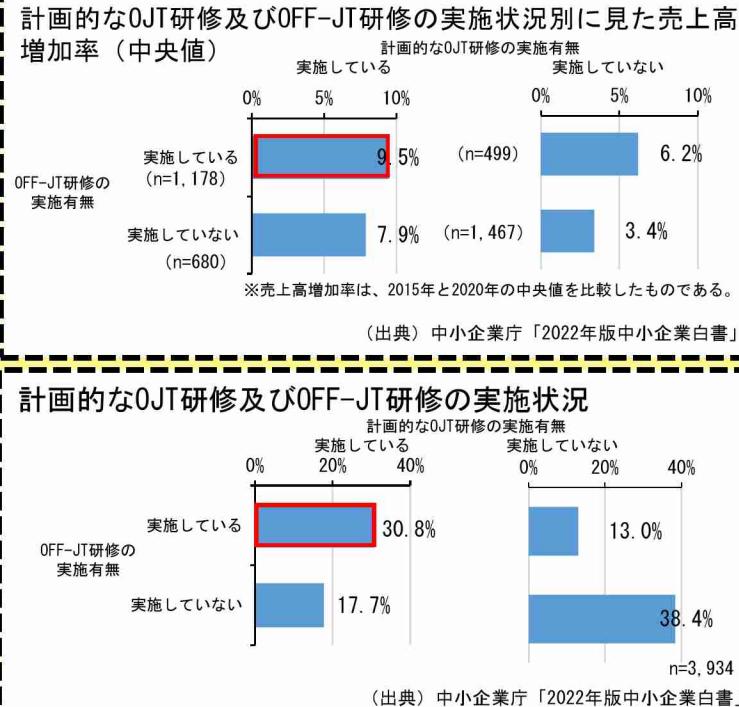
(出典) 厚生労働省千葉労働局「外国人雇用状況の届出状況」

### 1-②人材育成への支援

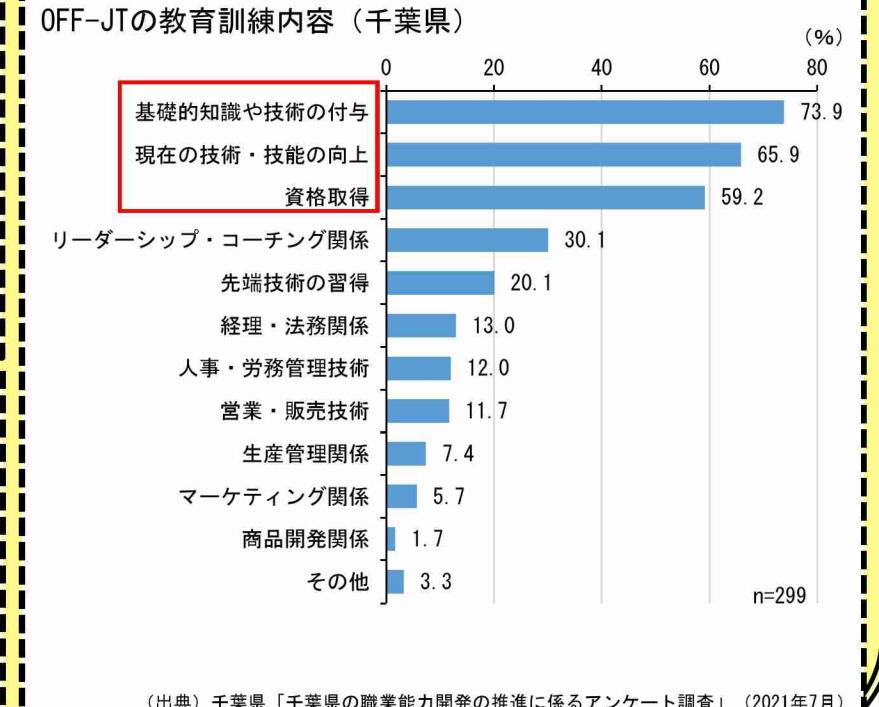
★経営者が積極的であるほど、従業員は仕事に対して意欲的であり、明文化されたもしくは慣習的な能力開発計画等を持っている。



★能力開発としてOJT研修とOFF-JT研修の両方を実施している企業は売上高増加率が大きいですが、両方を実施している企業の割合は約3割にとどまっている。

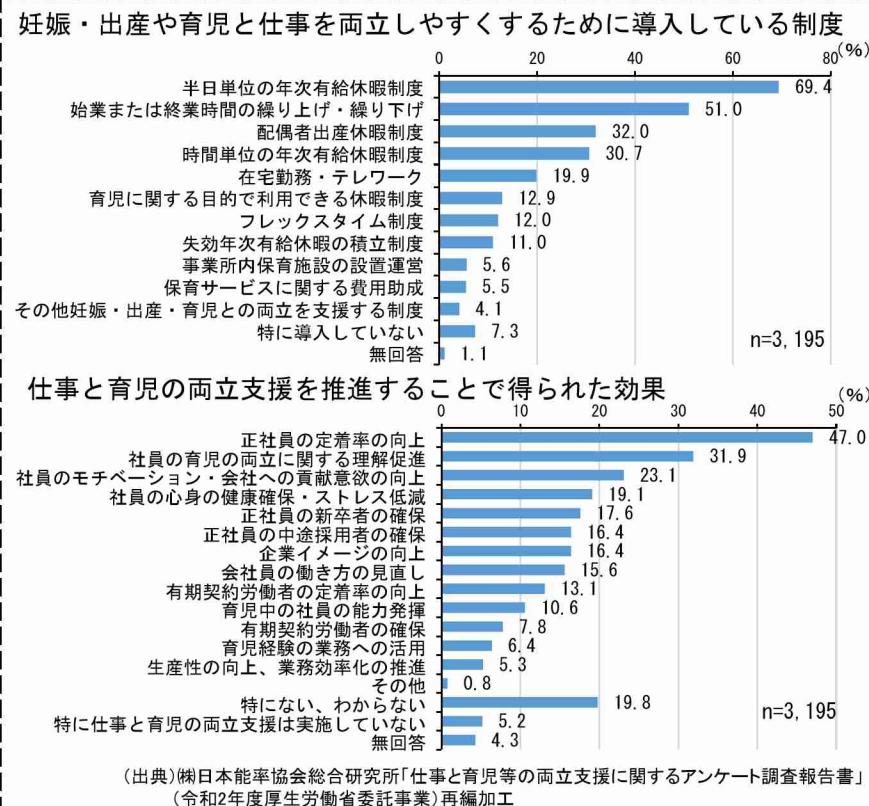


★OFF-JTを実施している県内企業の教育訓練内容をみると、「基礎的知識や技術の付与」、「現在の技術・技能の向上」、「資格取得」などの割合が高い。

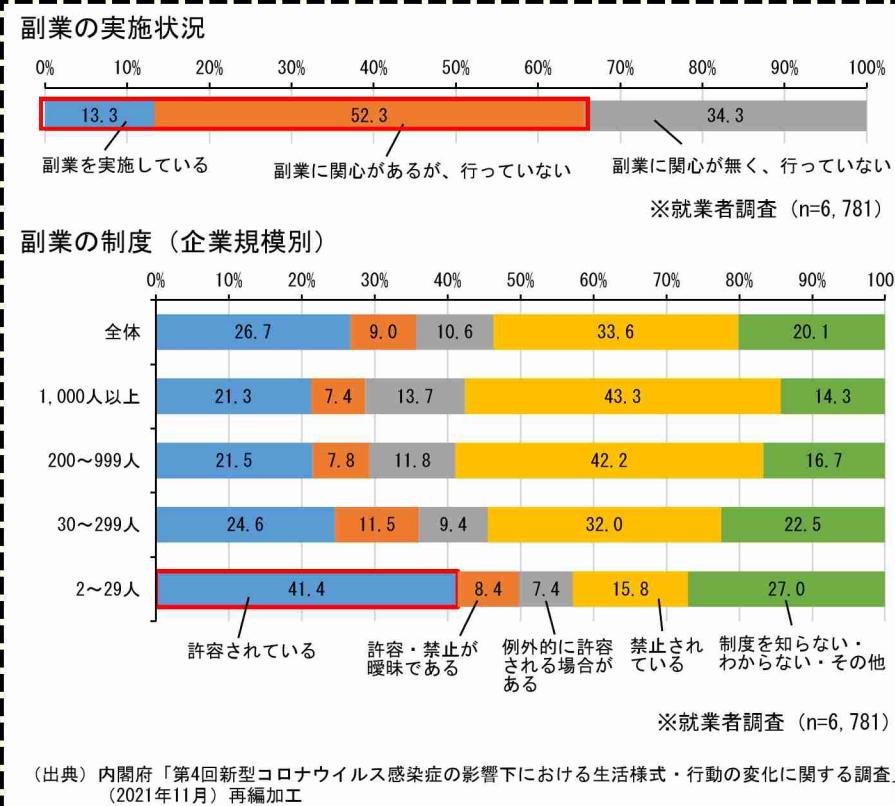


### 2 多様な働き方を実現する環境整備の促進

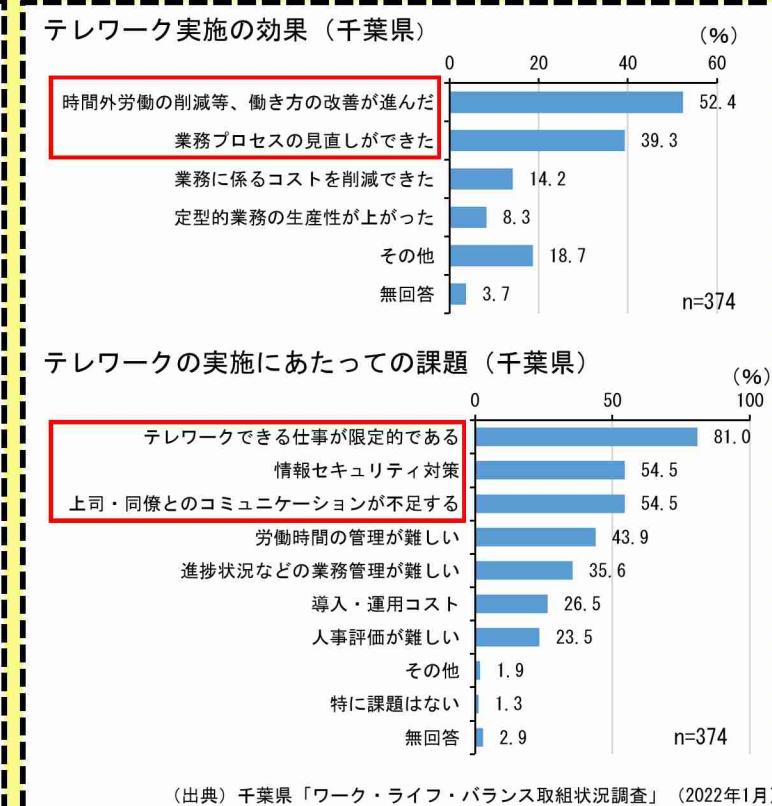
★企業の多様な働き方を実現する取組により、社員の定着率の向上やモチベーションの向上などの効果が期待できる。



★副業に関心のある就業者は多く、小規模事業者であるほど副業が許容されている傾向にある。



★テレワークの導入には、労働時間の削減や業務改善等の効果がある一方、セキュリティ対策・コミュニケーション不足等の課題もある。



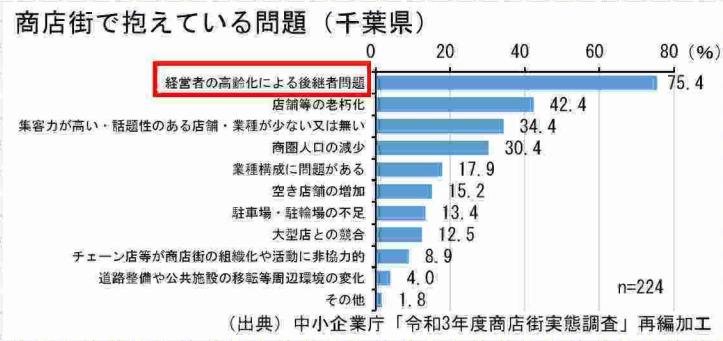
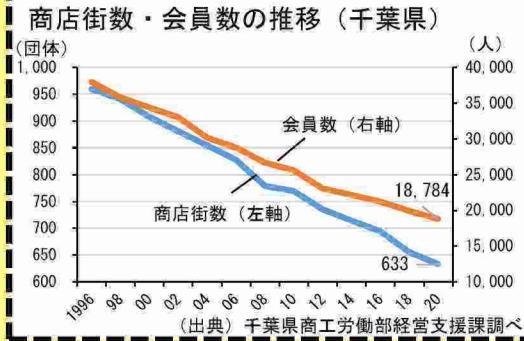
# 第4 中小企業と地域活性化

## 1 地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化

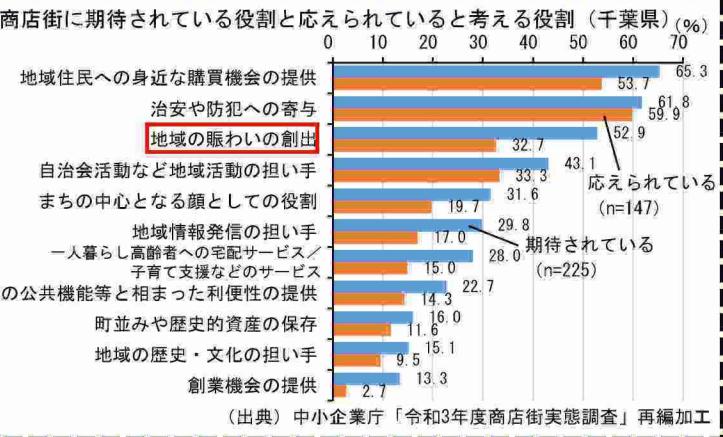
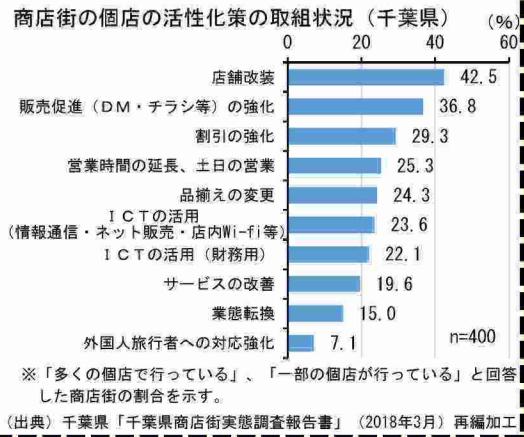
## 2 地域の特色を活かした地域活性化

### 1-①地域と連携した商店街の活性化

★商店街数と会員数は減少している。 ★商店街は後継者問題をはじめ様々な問題を抱えている。



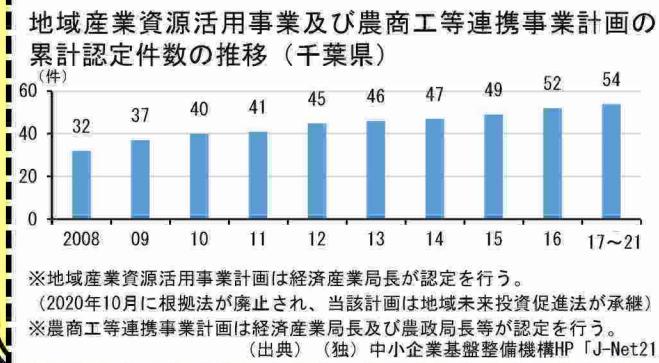
★商店街は様々な地域の活性化策に取り組んでいる。 ★期待されている役割と応えられている役割にはギャップがあり、「地域の賑わいの創出」が特に大きい。



### 資料 2-3

### 1-②地域資源を活用した新商品開発・事業活動の促進

★県内中小企業等による地域資源活用や農工商連携が進んでいる。



「ちばのキラリ」ロゴマークについて

県内中小企業が開発した地域特性等を活用した商品の認知度向上を促し、その消費拡大による地域産業の活性化を図るためのロゴマーク。

使用許諾件数は10社38商品である。（2022年6月9日現在）

### 1-③多様な主体の連携による地域課題解決の促進

★県内には中小企業等の多様な主体による連携の好事例がある。

さんむエコノミックガーデニング（山武市）

地域の中小企業の成長による地域経済活性化等を目指す、山武市や商工会議所、金融機関、中小企業等の連携体。

地域資源「山武杉」等の活用による商品開発や、田舎アクティビティの創出等に取り組み、企業活動の活性化と地域資源の魅力発信により地域経済の活性化を図る。

▲山武杉を活用した商品開発の一例

地域商社(株)SOTOBO ISUMI（いすみ市）

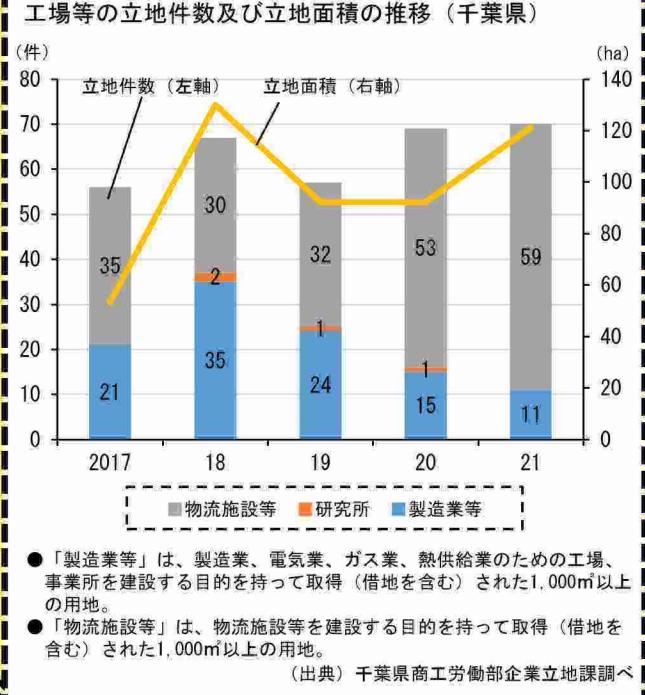
夷隅東部漁協、京葉銀行、いすみ市等が連携し、地域商社を設立。

IoT技術を活用した魚類の水塩分濃度センサーを応用し、ワクチンを保管する超低温冷凍庫の温度遠隔監視システムを開発。

▲水塩分濃度センサー

### 2-①企業誘致の促進

★物流施設等の立地件数が伸びている。 ★空き公共施設等への企業誘致は、南房総や外房地域を中心に実績を伸ばしている。



### 2-②観光振興を通じた地域活性化

★県内の観光入込客数等は増加傾向であったが、感染症の影響で2020年は落ち込んだ。 ★ワーケーションには観光振興をはじめ様々な効果が期待され、受入地域には情報セキュリティやハード面の整備が求められている。



ワーケーション・プレジャー導入のメリット

**企業（送り手側）**

- 仕事の質の向上、イノベーションの創出/帰属意識の向上
- 人材の確保、人材流出の抑止/有給休暇の取得促進
- CSR、SDGsの取組みによる企業価値の向上
- 地域との関係性構築によるBCP対策/地方創生への寄与

**従業員（利用者側）**

- 働き方の選択肢の増加/ストレス軽減やリフレッシュ効果
- モチベーションの向上/リモートワークの促進
- 長期休暇が取得しやすくなる/新たな出会いやアイデアの創出
- 業務効率の向上

**行政（受け手側）**

- 平日の旅行需要の創出/交流人口および関係人口の増加
- 関連事業の活性化、雇用創出/企業との関係性構築
- 遊休施設等の有効活用

（出典）観光庁HP 企業向けパンフレット

ワーケーション導入において、受入地域や施設に整備してほしいこと

（出典）観光庁「「新たな旅のスタイル」に関する実態調査報告書」再編加工